

たより



http://www.ise-mie.ed.jp/~kenkyusyo

E-mail:kyo-kenkyu@city.ise.mie.jp

令和3年10月4日

伊勢市教育研究所

伊勢市小俣町元町540番地

第1回 不登校対策子ども未来サポート研修会 開催

8月23日(月)、第1回不登校対策子ども未来サポート研修会をオンライン形式で開催しました。講師として米田 奈緒子先生(三重県教育委員会 不登校支援アドバイザー)をお迎えし『減らす・防ぐ不登校 ―学校と教育支援センターの連携―』という演題でご講演いただきました。



講演では、さまざまな観点から見た不登校要因について教わり、チームで「『その子に今何が必要なのか』を考え、学校だけで解決できない場合は、医療・福祉・教育支援センターなどの関係機関につなげて支援をしていくことが大事である。」というお話をしていただきました。またいくつかの事例をあげ、その対応についてのアドバイスをしていただきました。

米田先生のお話より

不登校の理由は、積もり積もって、一時的なものではなくなっている!

不登校の予防
が大切!

◎3つの観点から見た不登校の要因

<本人の要因>

不安傾向、無気力傾向、学校における人間関係に課題を抱えている、あそび・非行傾向。

<精神医学からみた不登校要因>

環境からくる抑うつや不安、身体症状に現れる神経症、発達障害からくる集団参加への著しい緊張や不安、統合失調症や気分障害(うつ病など)といった神経病圏。

<発達心理学からみた不登校要因>

母子分離不安、思春期、学習不振、家族の問題。

「家庭に係る状況」や発達障害が関係していることが多い。

「その子に今、何が必要か」「どこにつなげるか」を考える!

一人で抱え込まず、相談できるチームの体制を整えよう!



スクールカウンセラー

- ・心のケアにあたる。
- ・精神科医につなぐことができる。
- ・専門家として保護者に説明することができる。

スクールソーシャルワーカー

- ・病院、福祉機関に働きかけることができる。
- ・学校と、学校以外の子どもをめぐる機関の橋渡しができる。

学校以外の「居場所」

- ・教育支援センター
- ・フリースクール
- など

～参加された方の感想～

- ・「中学1年生で不登校を発生させない、予防することが大事である」ことや、「チーム支援の重要性」特に発達心理学からみた不登校要因について「正しい見立てをすることが大切である」ことなどを学びました。また事例を通して、関わっている生徒に「自信をもってかわりを続けていってください。」という米田先生のお言葉に勇気をいただきました。
- ・不登校を未然に防ぐためにも、子どもどうしのつながりを考えた教育活動をし、保護者をはじめ、さまざまな外部の人とのかかわりをもっておくことの大切さについても考えることができました。



教育支援センターNEST よい活動報告



4月から7月、NESTでの活動は、感染症対策のもと様々な制約の中で行われてきました。あたたかい、誰かのための鳥の巣（NEST）であるために。。。

今後も、状況を踏まえ、できることから進めていきます。よろしくお願いいたします。

絵手紙教室 7月 会場:NEST 教室

7月5日(月)柴田多嘉代さんを講師としてお招きし、『絵手紙教室～暑中見舞いうちわ、はがきを作ろう～』が行われました。参加した子どもたちは時間を忘れるほど集中して、絵手紙と短冊の作成に励みました。

描き終わった後は全員の作品を並べ、それぞれの作品を柴田先生にほめていただきました。照れながらもニコニコと笑顔な子どもたちが印象的でした。

最後は願いを込めて笹に短冊を吊りました。絵手紙教室を終えた子どもたちの感想には「絵を描くのが苦手だったけど、めちゃくちゃ楽しかったし、すごく達成感があった。」「初めは緊張したけど、上手に描けた感じがした。」「失敗したかな?と思ったけど“下手が良い”という言葉聞いて、自分でも良いと思えました。ほめてもらったのも嬉しかったです。」と書いてあり、とても充実した楽しい時間を過ごせたことが伝わってきました。



情報モラル学習会 7月 会場:大研修室



7月14日(水)教育研究所出口晃 ICTアドバイザーによる『子どもたちが危ない!インターネット社会の歩き方!～脳に・学力に・生活に、困ったことが起こる可能性が!～』の学習会に参加しました。

SNSのトラブルを防ぐためには相手の立場や気持ちを考えて利用すること、道具は人を幸せにするために作られているが、良い面と悪い面があるので注意しなければならないことなどを教えていただきました。また、インターネットにつながるスマートフォン・パ

ソコン・ゲーム機は、トラブルの原因となったり、学力へ影響を及ぼしたり、ネット依存やゲーム障害につながったりするなど、多くの危険が潜んでいることも教えていただきました。

子どもたちからは「ゲーム・スマホの時間を自分で決め自分で守るのがやはり大切だと思った。これからしっかり気を付けたい。」「自分の知らないことだらけで、いろんなことを知れた。家でも勉強をする時は、電源を切ったり自分の部屋には置いたりしないようにしようと思った。」という感想もあり、ゲームやスマートフォンの使い方を見直す機会となりました。

<教育支援センターNEST>

電話:0596-22-7901

受付時間:8:30~17:00

よろしくお願いいたします



教育コンサルタントによる訪問型支援(家庭訪問)も行っています。学校の先生方と一緒に訪問し、状況が整えば、その後継続して、単独で訪問を行うなど、学校・家庭の支援を行います。

☆ぜひ、お気軽に、ご相談ください☆

